

itesanjimasu

小紋柄を楽しむ町人文化あふれる空間



語らいの空間

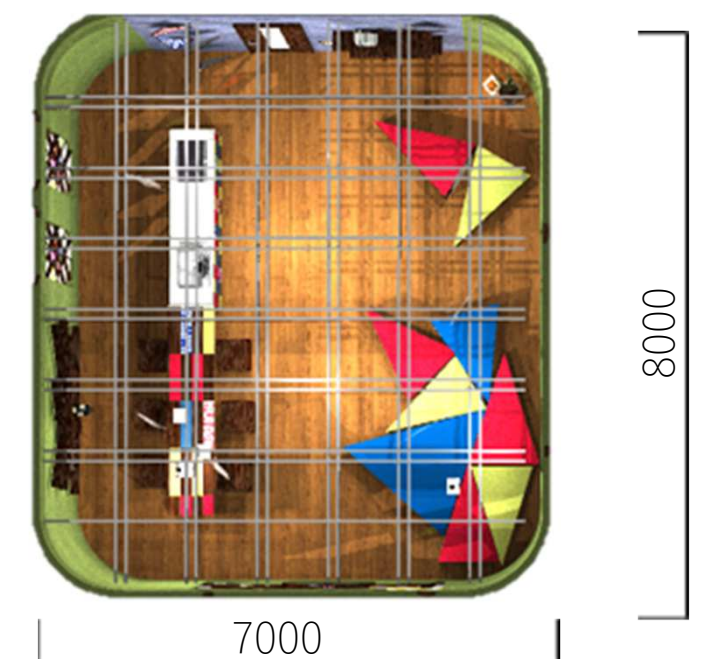
itesanjimasu いてさんじます
大阪弁で「ってきます」という意味がある言葉だ。

江戸時代、この頃の大阪は「天下の台所」と言われ特産物が集まる場となり、食に変化が起きた時代。この時代を生きた人々は食を味覚や嗅覚で楽しむことはもちろん、その場で広がる語らいの時間も楽しんでいたはずだ。

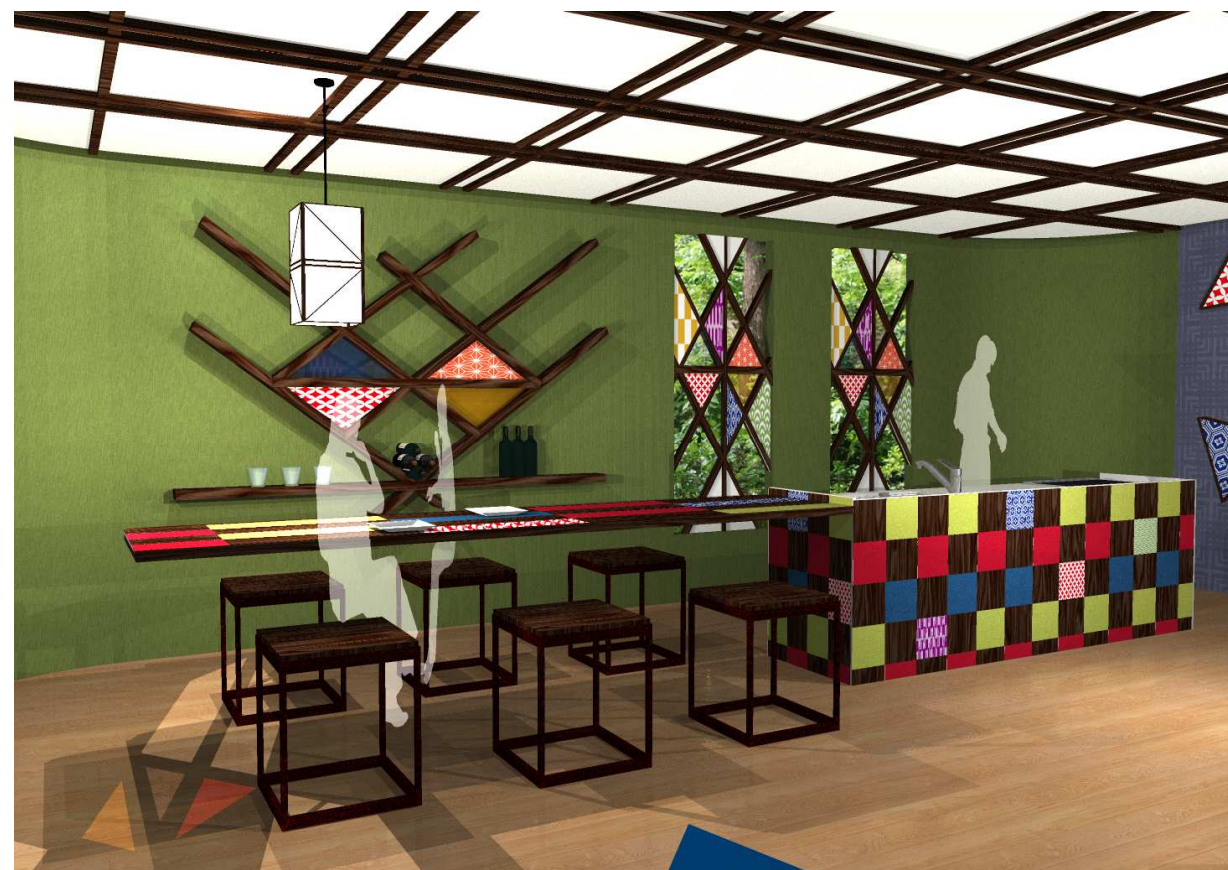
しかし、現代はどうだろう。食事を楽しむ人もいるが、大半の人は何かをやりながら食事をしたり、忙しく空腹を満たすだけの食事になってはいないだろうか。そこで江戸時代の大阪に戻ったような空間の中で、この時代と同じような食の楽しみ方を味わう共有スペースとした。

「ってきます」の言葉とともに、また新しい旅が始る。食から広がる語らいの時間を、旅行の1つの「楽しみ」として取り入れてみるのはどうだろうか。

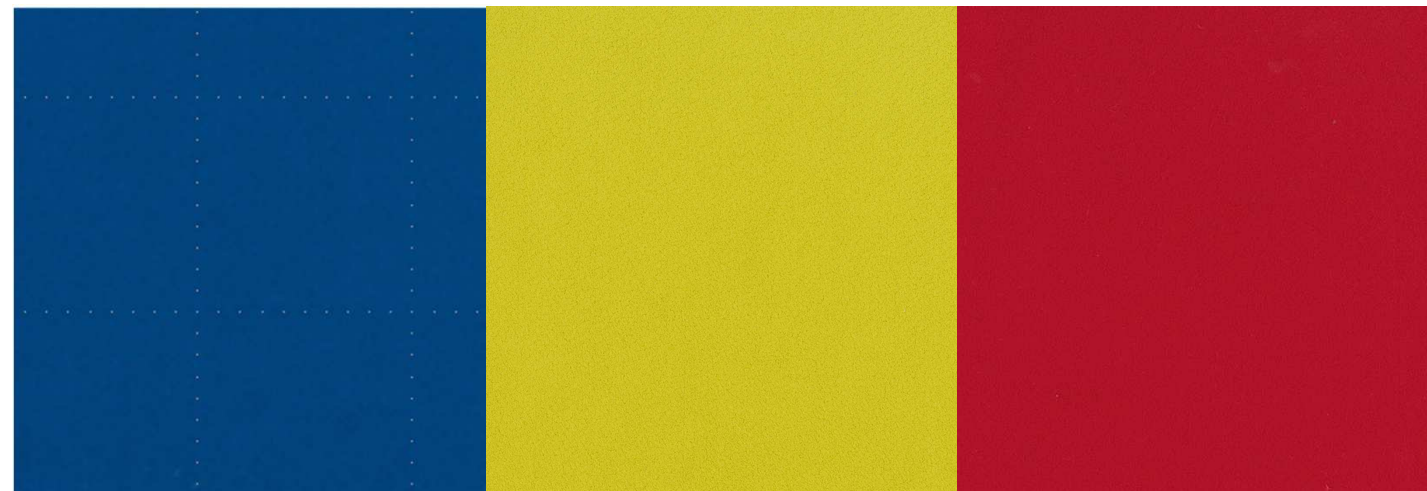
平面図



床面積 56㎡



キッチンでは、大阪の食を存分に楽しめるよう宿泊客自ら料理ができる。隣接したbarでは会話を楽しみながらお酒や料理を味わう。



スツール張地
シンコール
T-7180
青藍をイメージ

スツール張地
シンコール
T-7158
菜種油色をイメージ

スツール張地
シンコール
T-7161
洋紅色をイメージ

スツールは組み合わせにより、自由に形や配置を変えることができる。つなげれば、くつろぎの空間として、離して配置すれば語らいの空間となる。

窓に小紋柄の布を張ることで柔らかい光の中で柄を楽しむことができる。



柄を楽しみくつろぎ語らう空間



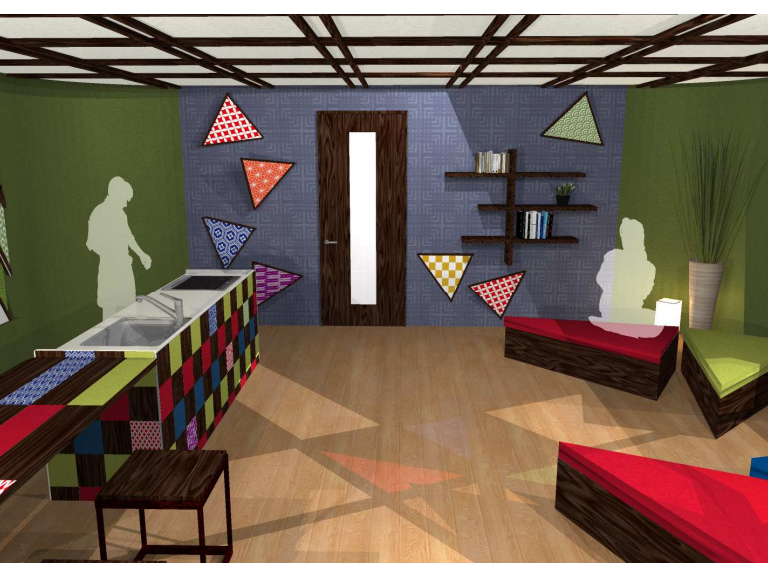
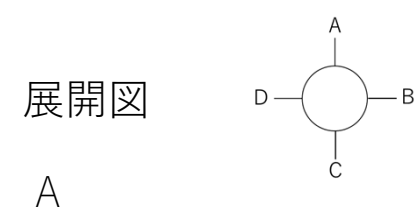
窓・壁装飾



壁紙
リリカラ
LW-4561



江戸時代の着物をイメージし、貼られた壁装飾。日本の伝統である美しい柄の良さを日本人はもちろん海外の人々にも楽しんでもらえるようにした。



2600